



# なぜ広島でオリンピックなのか！？

## 基本計画の問題点をたず

10月8日、広島へのオリンピック招致の基本計画(案)について、市議会全員協議会で集中審議が行われました。日本共産党市議団からは中森辰一議員が質疑に立ち、開催目的はオリンピックの根本原則を逸脱していないか、財政計画など実現可能か、などの観点から質問しました。質問と答弁の要点を報告します。

### 1. 核兵器廃絶の推進はオリンピックの「政治利用」にならないか

**質** オリンピックは、「スポーツを通じて人種、宗教、政治を超えた諸国民の相互理解を増進し、世界平和と国際親善に貢献すること」を根本原則とするスポーツ祭典である。しかしコンセプト(基本理念)で、「核兵器廃絶を2020年に実現したいと行動している広島において夏季オリンピックを開催したい」「核兵器のない新しい時代を象徴するイベント」と述べている。これは、オリンピックを「2020年に核兵器廃絶」という政治課題に利用することにならないか。「核兵器廃絶」ありきは、オリンピックの根本原則の逸脱ではないか。

**答** ヒロシマ・オリンピックが実現したら核兵器廃絶の力は加速すると思うが、目的として利用ということではない。核兵器廃絶などの平和の原理はオリンピックの根本原則と合致していると考えている。

**質** 開催都市には、世界最高峰のスポーツ祭典として成功させる責任がある。しかし、検討委員会のメンバーは国内26の自治体の首長だけで、計画づくりに競技団体などが参画していない。地元からも参画していない。スポーツ大会の成功より政治課題が第一になっているからではないか。

**答** 専門コンサルタントに委託してつくった競技会場の計画図をもって競技団体に協議に行った。地元の競技団体には具体的に個別の内容について協議はしていない。

◎ **核兵器廃絶は人類的・最重要な課題であっても、明らかに政治課題です。**

### 2. 赤字になったら、だれが責任をもつのか

**質** ・仮設施設の売却先のあてはあるのか。  
・1000億円もの寄付の確実性が問題だ。  
・東京の計画は、国際競技連盟が点検して修正を余儀なくされた。修正はありうるが、そのために増大する経費は見込んであるのか。  
・招致費の25億円は少なすぎるのではないか。

**答** ・仮設施設の売却先は大会組織委員会を想定している。  
・1000億円の寄付集めは今後詳細に検討する。  
・修正があるかもしれないと思うが、予備費的なものはみていない。  
・広島ならではのPR方法を考えて極力25億円の中で対応していきたい。

**質** 東京の場合は国が財政保証をしたというが、巨額の寄付金をあてにするなど不確実な部分が多い点が大きな違いだ。国が全部見るというのか疑問だ。100%保証するという国の確約があるのか。

**答** 赤字が出た場合の国の保証をいただけるよう、最大限の努力をしていきたい。

◎ **東京の場合、当時の麻生首相が「保証書」を出しましたが、国会は同意していません。**

大会運営経費

項目	金額(億円)	備考	東京の例(億円)
テレビ放映権収入	729	IOCからの配分金	675
企業協賛金	1182	IOCからの配分金など	1172
チケット収入	528		815
資産売却収入	458	仮設施設の売却	40
寄付金など	982		86
その他	450	パラリンピック・チケットなど	270
合計	4329		3115

オリンピック開催経費

項目	経費総額(億円)	
	経費総額	うち市負担額
大会招致経費	25	15
大会運営経費	4329	0
大会関連経費	137	37
合計	4491	52

### 3. 競技会場はこの計画でいいのか

**質** オリンピックの場合は、すべての競技会場について、「オリンピック基準」というのがあり、それで厳しくチェックを受ける。仮設施設にしても既存施設にしても、すべて「オリンピック基準」になっているのか。

**答** 2020年オリンピックの競技施設の基準はまだ示されていないが、福岡や東京を参考に計画をつくっているので、オリンピック基準に準じているものと考えている。

**質** 仮設施設を使う問題は実現性に関わる問題だ。仮設施設でもまったく問題がないと、すべての競技団体にOKをもらっているのか。

**答** 対象となる29団体の競技団体すべてに説明し協議している。いくつかの団体から施設整備に関する意見はあったが、反対だと言った団体はない。今の段階では、実現性を見極める判断材料としては十分な内容だと考えている。

◎ 2020年オリンピックの競技施設の基準は示されていません。

### 4. オリンピックのために市民生活があとまわしにならないか

**質** ・交通機関の整備や道路の整備などをいっさいせずにすむのか。  
・仮に、オリンピック開催が決まったら、交通基盤や道路をもっと整備せよ、広島駅周辺開発を早くやろうとなって、財政的な無理をすることにならないか。

**答** ・交通処理は、福岡の例を参考にして、この計画で可能と判断した。  
・道路の整備も、施設の整備も、それぞれの計画スケジュールにもとづいて実施されると考えている。

**質** 広島市では、毎年600億円以上の借金払いがあつて、市民生活のための仕事の妨げになっている。市の負担は52億円に抑えたといつても、52億円も貴重であり、市の財政健全化計画と両立するか説明が必要だ。

**答** 今回の基本計画案は、将来に過度な負担が残らないということを基本方針として取りまとめているので、広島市の財政運営と整合がとれているものと考えている。

◎ 競技施設や交通施設の計画の修正があれば、その費用は市民の税金でまかなうしかありません。2012年に予定されているロンドンオリンピックの経費は立候補のときの3倍(約2兆円)にふくらんでいます。

#### オリンピック招致検討の今後の予定

##### ■各区市民説明会

(10月21日～30日)

↓  
議会・市民の意見をふまえて基本計画(案)を修正・加筆する

##### ■招致検討委員会で方針決定

##### ■市長の開催都市立候補表明

↑  
議会の決議は必要ない?

↑  
「原則として、市民の代表である議会の同意がない立候補は受け付けられない」  
(JOC招致担当室長)

#### オリンピズムの根本原則(オリンピック憲章より)

1. オリンピズムとは人生哲学であり、肉体と意思と知性の資質を高めて融合させた、均衡のとれた総体としての人間をめざすものである。スポーツを文化や教育と融合させるオリンピズムが求めるものは、努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、普遍的・基本的・倫理的諸原則の尊重などに基づいた生き方の創造である。
2. オリンピズムの目標は、スポーツを人間の調和のとれた発達に役立てることにある。その目的は、人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進することにある。
3. オリンピック・ムーブメントは、オリンピズムの諸価値によって生きようとするすべての個人や団体による、IOCの最高権威のもとで行われる、計画され組織された普遍的かつ恒久的な活動である。それは五大洲にまたがるものである。またそれは世界中の競技者を一堂に集めて開催される偉大なスポーツの祭典、オリンピック競技大会で頂点に達する。そのシンボルは、互いに交わる五輪である。
4. スポーツを行うことは人権の一つである。各個人はスポーツを行う機会を与えられなければならない。そのような機会は、友情、連帯そしてフェアプレーの精神に基づく相互理解が必須であるオリンピック精神にのっとり、そしていかなる種類の差別もなく、与えられるべきである。スポーツの組織、管理、運営は独立したスポーツ団体によって監督されなければならない。
5. 人種、宗教、政治、性別、その他の理由に基づく国や個人に対する差別はいかなる形であれオリンピック・ムーブメントに属することとは相いれない。
6. オリンピック・ムーブメントに属するためには、オリンピック憲章の遵守及びIOCの承認が必要である。

日本共産党市議団は、オリンピック招致の問題について、今後も、さまざまな関係者の方々や、市民の皆さんのご意見をうかがいながら議会で論戦をしていきたいと考えています。ぜひ、ご意見をお寄せください。